



## 鳳凰三山②

2017年7月28日（金）～29日（土）

Report by 堀

7月29日（土）夜明け前、雨の音がしている。4時起床。外に出てみると雨は小降りになっている。（雨具を着て汗に濡れるか、傘で済ませて雨に濡れるか）どちらもあまりうれしくない選択だが、吉松さんと根岸さんは前者、つまり汗に濡れることを選択し、レインスーツとスパッツを用意。堀は後者、雨に濡れる方を選択した。（本当は「面倒だ」とズボラをかませただけだが）



朝食を済ませ、5時35分  
小屋の前で出発写真を撮つ  
たが、今回、全員集合の写真  
はこれが初めてだ。



南御室小屋（2440m）の周囲  
には、山の花が多い。  
クルマユリ



キバナヤマオダマキ



テガタチドリ

昨日の登山道では全く見る  
ことのなかった花々だ。



雨の中、傘をさして薬師岳への登りに掛かる。



こちら雨具派  
どちらが勝つか？



出発して 50 分、雨は上がつて薄日が漏れる。



前半は傘派（別名ズボラ派）の勝ちか？



砂払岳の手前は岩場になっている。



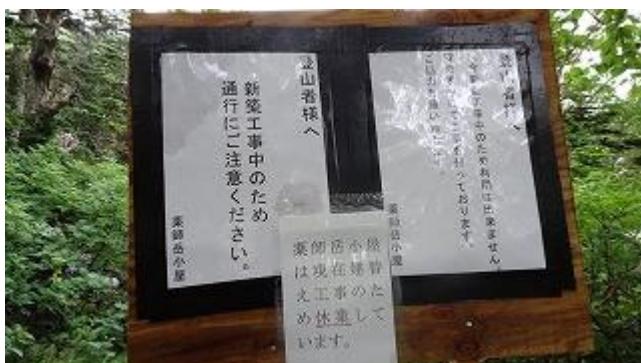
岩の割れ目などにタカネビランジが咲いている。今回、一番多く目にした花だ。



こちらはハクサンシャクナ  
ゲ



砂払岳  
いよいよ薬師岳も間近だ！



7:10 薬師小屋を通過。建て  
替え中で営業していない。





ツマトリソウ

本来はフチがピンクなのだが  
が、縁取りのないコツマトリ  
ソウか？



おなじみのゴゼンタチバ



ハイマツ

マツボックリ？が赤い



7:17 薬師岳（2780m）山頂  
早立ちしたので予定より約  
30分早い。ペースは計画通りだ。  
しかし、何も見えませんねえ。

先週、仙丈ヶ岳からは鳳凰三山がよく見えたようで…熊本さん撮影の写真↓

2017・7・22 の鳳凰三山





薬師岳から岩や砂礫の尾根筋を暫く行くと観音岳に至る。



8:00 鳳凰三山の最高峰、観音岳（2840m）に到達。  
ガスで何も見えないが、シャッターをお願いして証拠写真を残す。  
ここから 3 つ目のピーク地蔵岳（2764m）に向かう。



2012 年にもあった印象的な樹形の松。しっかり生き残っていた。



こちらはダケカンバ。  
いずれも長年風雪に耐えて  
きたことが樹形にあらわれ  
ている。

赤抜沢ノ頭から賽の河原へ下るあたりは花の種類が多い。



タイツリオウギ



ハクサンシャクナゲ  
(白花)



タカネビランジとウスユキ  
ソウ



?



タカネエンゲンナイフウロ



ガスが薄れたとき、地蔵岳の  
オベリスクが現れた。



9:55 賽の河原に到着。



川島さんから返納を頼まれた預かり物、賽の河原の石である。あれから 5 年。「古里」から根岸さんが大事に持ってきてくれました。(いや～重かったこと！)



お賽銭を供えて鄭重にお返ししましたよ。

代参を済ませて肩の重荷?  
もなくなり、オベリスクの直  
下まで往復。



賽の河原に戻り、鳳凰小屋に  
向かって下降開始。

富士山の砂走りのような、砂  
状の斜面を下る。前回、ここ  
を登ったときは一歩登ると  
ズルッと半歩下がってしま  
い何とも歩きにくいところ  
だったが、今回は下りなので  
ラクチンだ。



11:00 鳳凰小屋に到着。早立  
ちしたのに、当初の予定時間  
になってしまった。

ここで昼食の予定であるが、  
なんということか!鳳凰小  
屋は昼食はやっていないと  
のこと。私の手落ちです。申  
し訳ない。手持ちの食料で適  
当に済ませることに。

少し前から雨が本降りになってきた。

青木鉱泉への下りは、ドンドコ沢という谷間の道だ。雨の中、谷筋を下るよりも尾根道  
を御座石温泉に下る方がいいのではないか?

小屋オーナーの細田さんに聞くと、御座石コースの方が良いとのこと。よって、予定を

変更して御座石に下ることにする。



下る途中で見られた花々

雨でレンズが曇って・・・



センジュガンピ



フシグロセンノウ



ノリウツギ



キツリフネ



ヤマユリ



レンゲショウマ？



宿に到着したときに入浴料と韮崎までのバス代を払ったのだが、宿のばあさんとご主人（息子）が、同じ料金で車で送るからと言うので、そうすることにした。

11:15 下山を開始。下山といつてもかなり下ったところから燕頭山（つばくろあたまやま）の登りがある。燕頭山には 12:40 少し前に到着。ここから先は急な下りが続く。



15:30 御座石温泉に到着。濡れ物を片付け、直ぐに入浴。しかし、浴槽は 10 枚ほどの板で蓋がしてあり、板を除けながら“湯もみ”、更に熱すぎるのでバケツで水を数杯！ここは温泉とか言つても沸かし湯です。

風呂上りにビールで乾杯！そして食べ損なった昼食に蕎麦を注文。

\*この話、2007年に熊本さん、鵜飼さん、竹内さん、高橋（雄）さんが行った時とほぼ同じで、切符販売をこの宿に委託しているバス会社は知らないのだろうか？

<http://www.shopwanta.com/kumasan/2007nen/0721houou/houou21.htm>



桃や漬物、揚句は山のもろもろ漬け込んだ焼酎（例えばスズメバチ）をサービスしてくれる。（そして車で送る話を切り出す。営業スタイルが確立しているな）



韮崎駅まで送ってもらい、18:23（発）のあずさ30号自由席で残った酒を飲んで、八王子 19:49 横浜線経由で各人無事に帰宅した。

スタートでトラブルあり、白峰三山もみることが出来ず、雨に祟られコース変更を余儀なくされましたが、全員無事に帰着できたことで良しとしましょう。  
(完)